

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2021.12.01

Vol.

4

December, 2021

# しかま支え合い 情報誌

第 4 号  
隔月 1 日発行



特集

## 舞踊で届ける 感謝の心

# いろんな人に支えられ 舞踊を続けて来られた 感謝を舞踊で届けていきたい



お弟子さんの（左から）佐藤のぶえさん、碓井とよみさん、伏見洋子さんと島田さん（右端）。

## 舞踊とともに 埼玉から帰郷

宮城県色麻町道命地区に小さな舞踊教室があります。「始めは、母や兄は反対だったんです」と明るい表情で語るのは、新舞踊藤枝会代表の島田登美枝さん（七十八）。「実家に戻った時に、作業場を改築して稽古場にしようと思ったんです。あまりお金をかけないようには思いましたが、床だけはこだわりました」。

島田さんは平成十五年七月に、埼玉から道命

に戻ってこられました。

「私には子どもがいまいませんでしたから、主人に先立たれ一人になりましたので、実家に戻って母と暮らそうと思ったんです」。

実家に戻られてからも、平成元年から師事していた踊りの師匠の教室には車で通い続けました。「十五年も続けてきましたし、師匠のことは尊敬していましたので、厳しい指導に必死でついていきました。そこで辞めてしまうのは考えられなかったですね」と過去を振り返ります。

## 母との別れ 舞踊の師匠に

踊りを続けながらも、お母さんの介護もされていきました。踊りと介護で大変でありながらも、お母さんとの生活は楽しかったと語ります。「確かに介護は大変でしたけど、母はとても考え方が前向きな人でしたので、心の支えになりました。私のステージの動画を観ては嬉しそうにしていましたよ」。そんなお母さんも平成二十二年十二月、永眠されました。



着物を着ると気合が入るそうです。

お弟子さんと稽古をする島田さん。



同じ頃、師事していた埼玉の師匠から「地元で教室を開きなさい」と免許皆伝の許しを得ました。地道道命で舞踊教室を開き「藤枝会」と名付けました。踊りの師匠となった島田さんの指導は厳しいそうです。「厳しい方がいいんですよ。褒められてばかりじゃつまらないですからね」と語るのはお弟子さんの碓井とよみさん（七十四）。「でも先生の言葉は優しいんですよ」とお弟子さんの伏見洋子さん（七十八）。

## 踊りに助けられてきた 感謝の気持ちを踊りで届けたい

藤枝会は、町内の高齢者施設でも踊りを披露されています。「施設の利用者の方々は目が肥えてらっしゃいますので、下手な踊りは絶対にできませ

られ続けていると感じます。踊り続けられてきたのもいろんな方々の支えがあればこそ。心から感謝しています。これからのこの感謝の気持ちを踊りで届けていきたいです」。

本番前日は踊り慣れた曲でも、何度も繰り返して練習します。」と踊りに対する真剣さを感じさせます。情熱のこもった踊りを披露すると、利用者の方々には大変喜ばれる

そうです。手を握って「また来てね」と声をかけられると、胸が嬉しさを溢れ、日々の生きがいになるそうです。「こんな喜びは踊りをやっていなければ得られなかったと思います。本当に踊りに助け

られます。コロナ禍で公演を休まざるを得ない今も、道名の小さな稽古場からは、稽古の音が響いていました。

←藤枝会の看板



色麻町「イ・ビ」センターで舞踊を披露する藤枝会の皆さん。



公演後、利用者の方々と握手する藤枝会の皆さん。



SDGs 目標 3

## しかま支え合い掲示板

地域の活動情報をお寄せください！  
生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！  
皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、色麻社協（65-2260）までご連絡ください。  
生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合



色麻町社会福祉協議会  
色麻町生活支援コーディネーター

すが 原 一 杉

情報誌にてご紹介させていただきます。  
皆さんの地区の活動が、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

## EYE'S



●ふれあいは一と訪問お弁当配達日●  
今月は16日(木) 17日(金)です!!

町内の七十五才以上の一人暮らしの方のお宅に、協力員さんが訪問する「ふれあいは一と訪問」。十二月はお弁当配達の日になっています。  
配達日は十六日の木曜日と、翌十七日の金曜日になっています。いずれもお昼時にお伺いします。  
ご注文された方のお宅にお持ちしますので、お楽しみに！

ふれあいは一と訪問



色麻町社会福祉協議会

このマークが目印です。

# 色麻のコミュニティ紹介

## 地区有志が草刈りボランティアを実施（道命）

道命地区で10月31日（日）、地区の有志による民家の草刈り奉仕作業が行われました。自宅敷地内の篠竹や草が繁茂して、自力で刈り払うのが難しいため、日頃から農作業を共同で行っている地区民が相談して自主的に実施したものです。この日は朝8時に有志10人が刈払機を持って集合し、約2時間かけて高く伸びていた篠竹や草をきれいに刈り払いました。

有志代表の遠藤稔さんは「高齢化が進み、生活する上で外からの手助けが今まで以上に必要になってくる。自助努力が基本ではあるが、気軽に支援を求め、気軽にこれに応じる地域づくりを進めていきたい」と話していました。



一斉に刈り払いスタート！！



朝8時に全員集合！

## 支え合いの交差点 かつば笑会

役場前にあるかつば笑会では、様々な活動を行っています。

### ● ペットボトルのキャップやプルタブの回収。

集められたキャップやプルタブは、様々な公益事業に役立てられます。お持ち込みの際は下記問い合わせ先までご連絡ください。

### ● 古着の回収・配布

大人物から子ども服まで古着を回収いたします。ご入用の方は持って行っていただいて構いません。古着ご提供の際は、必ず洗濯したものをお持ちください。下着・肌着類は受け付けておりません。お持ち込みの際は下記問い合わせ先までご連絡ください。

月・水・木の18:00~20:00はコワーキングスペースとしてオープンしています。Wi-fiも完備していますので、ちょっとしたパソコン仕事や学生さんの迎え待ち、簡単な打ち合わせ等にご利用ください。

### 【問い合わせ先】

かつば笑会 0229-87-3884  
(月・水・木 18:00~20:00)

その他、イベントや会議・打ち合わせ等にもご利用できます。ご利用の際はお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

加美商工会色麻支部 0229-65-4384



## しかま支え合い情報誌 vol.4

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。